

九州のフクオカ

韓国の釜山

福 & 釜



スペシャルトーク企画

福岡と釜山、 往来する演劇とアート

トークについて

この度、WATAGATA福岡釜山アートネットワークは(公財)福岡市文化芸術振興財団と共催し、福岡釜山間の演劇やアートに関する動向について語り合うトークイベントを開催いたします。福岡と釜山の文化芸術における交流は、古くより続く流れが多く存在しますが、近年は特に演劇やダンスなどのパフォーマンス・アーツの交流が非常に盛んです。昨年2014年には、日韓のパフォーマーが同じ舞台に立ち、戯曲交換、複数言語を使用した演出など、両国の芸術家たちによる新しい表現を求めた挑戦が多く見られました。その関係者をパネリストとして迎え、ざっくばらんな対話の中でこの動きを振り返ることで、これからの表現、そして国境を越えて関わる可能性を考える機会の創造を目指します。

福岡と釜山の文化交流に関心があれば、どなたでもご参加いただけます。お気軽にご参加ください。

日時……………2015年3月4日(水) 19時
会場……………ソリッド・アンド・リキッド天神(福岡市中央区天神1-7-11 イムズ4F)
入場料……………1000円(ワンドリンク付)/予約不要

パネリスト(順不同/敬称略)

金世一(国際文化芸術交流企画団体 SEAMI Project 代表/俳優/演技トレーナー/演出家)

チュ・ヘジャ(劇団・俳優と観客として空間 代表/演出家・釜山在住)

百瀬友秀(アートパフォーマンスカンパニー M.M.S.T 代表/舞台演出家/Periplocus Art Lab 所長)

山下晶(テレロマンスタイル 主宰)

中嶋さと(14+主宰/演出/俳優)

横山恭子(オフィスケイワイ 代表/制作・コーディネーター)

王丸あすか(アートマネージメントセンター福岡/制作) ↓ほかゲストあり

ゲスト

キム・ヒジン(WATAGATA福岡釜山アートネットワーク 釜山側代表)

ジョン・ミヨン(同釜山側運営委員)

イ・ジスク(原都心創作空間トタガ運営支援センター チーム長)

ジョ・ウンア(ミュージカル制作企画者/株文化 CONG)

通訳

宇佐川雅美(フリーコーディネーター/通訳)

シム・ウヒョン(WATAGATA福岡釜山アートネットワークディレクター)

モデレーター

宮本初音(WATAGATA福岡釜山アートネットワーク福岡代表)

主催: WATAGATA福岡釜山アートネットワーク、(公財)福岡市文化芸術振興財団、福岡市
協力: イムズ、アートマネージメントセンター福岡、ソリッド・アンド・リキッド天神
【問合せ】 WATAGATA福岡釜山アートネットワーク 福岡事務局 (ART BASE 88 内)
Tel/Fax: 092-986-4888 Mail: watagatainfo@gmail.com
〒810-0041 福岡市中央区大名1-14-28 紺屋 2023 #306
※諸事情により、企画内容・出演者に変更となる場合がございます。
詳しくはこちらをチェック→ <https://watagatainfo.wordpress.com/>

2014年度(4月~12月)における、福岡釜山間での主な舞台作品介绍

(2015年2月、WATAGATA福岡釜山アートネットワーク調べ)

5月

第8回福岡演劇フェスティバル参加作品『Foolish』(Gongter_DA/韓国)
・2011年釜山国際演劇祭公式招聘作品である『チャ・サル・ジャ』を、日本人俳優(14+/福岡)を交え、新演出にて上演。
会場：イムズホール(福岡)



6月

韓国-日本 共同制作プログラム Plan Co #1 『ソリソムンドプシ』(振子びじん、緒方祐香、Yanchi ほか)
・LIG文化財団(韓国)、釜山文化財団(韓国)、(公財)福岡市文化芸術振興財団(日本)、NPO法人JCDN(日本)の4団体により立ち上げられた「Plan Co」による、釜山での滞在制作、舞台公演、フォーラム、展示を実施。
会場：LIGアートホール釜山・沙上インディスターション(釜山)



第15回公演『晴レタラ、見エル。～ぼくがBUSANであれでして～』(グレコロマンスタイル/福岡)
・福岡と釜山の俳優による字幕なしの演劇作品。西鉄ホールではシンポジウムも開催。
会場：西鉄ホール(福岡)・ザユバダ小劇場(釜山)



7月

福岡/釜山一劇団・作品交流プロジェクト HANARO project vol.1 『四畳半の翹音』(俳優倉庫/釜山)『クリスマスに30万ウォンと出会える確率』(M.M.S.T/福岡)
・福岡と釜山の文化交流事業として、福岡側は2011年釜山日報新春文芸戯曲部門当選作品『クリスマスに30万ウォンと出会える確率』(作：オ・セヒョク)を、釜山側は第三回九州戯曲賞大賞受賞作品『四畳半の翹音』作：島田佳代(演劇集団非常口)をそれぞれ製作し、福岡・釜山で同時に上演。
会場：FUCA BASE(福岡)／チョンチュンナビ・アートホール(釜山)



8月・9月

第5回九州戯曲賞大賞受賞作品『タンバリン』再演(劇団go to/福岡)
会場：ぼんブラザホール(8月・福岡)／ガオンアートホール3館(9月・釜山)

9月

第13回公演『ゾンビの瘡蓋 SCAB OF THE DEAD』(14+/福岡)
・キム・ジョンソク(Gongter_DA/韓国)が参加
会場：ぼんブラザホール(福岡)



9月・11月

第5回福岡アジア美術トリエンナーレ参加作品『バダバダ/波の少女』(WATAGATA福岡釜山アートネットワーク主催)
・原案：キム・ヒジン(TOTATOGA/韓国)、脚本演出：中嶋さと(14+/福岡)。
会場：あじびホール(9月・福岡)／ザユバダ小劇場(11月・釜山)



金世一

国際文化芸術交流企画団体SEAMI project代表/俳優/演技トレーナー/演出家



韓国・釜山生まれ。韓国で俳優、演技指導者として活躍。2003年に日本文化庁の海外芸術家招聘研修員として来日、その後から日本で活動。東京大学大学院の文化資源学研究室にて演技論研究に携わる。自身も国際演劇祭受賞作品をはじめアジア各国の共同制作舞台にて出演・演出。2013年から制作団体「世ami」、国際交流企画集団 SEAMI projectを創設。

チュ・ヘジヤ

劇団「俳優と観客そして空間」代表/演出家・釜山



釜山慶星大学校 演劇映画学科卒業。現在、劇団「俳優と観客そして空間」代表。演出/「ザ・ブリッジ」(空間小劇場)、「my dear Helen」(トタトガギャラリー)、韓国インド合作公演「The Bowl」(インドケララジュ大劇場)、「アンネの日記」(釜山文化会館小劇場)など多数。

百瀬 友秀

アートフォーミングカンパニーM.M.S.T代表/舞台演出家/Periplocus Art Lab 所長



1977年東京生まれ。「現代における演劇の確立」をコンセプトに1998年より活動を開始。2000年M.M.S.Tを開始。サウンド・パフォーマンスや映像インスタレーションにおいても意欲的に作品を発表。2008年福岡市文化芸術振興財団主催のコンペティションにて最優秀作品賞を受賞。2011年震災を機に福岡に活動拠点を移す。2014年日韓共同の戯曲交換企画 HANARO projectに演出家として参加。

山下 晶

グレコロマンスタイル主宰



2002年「役者の、役者による、観客のための集団」をスローガンにグレコロマンスタイルを結成。同団体では、主宰、作、演出、出演の4役を担う。2013年より韓国・釜山の「トタトガ」と協力して文化共存を目指して作品を創作。2014年に実験に基づいて作られた『晴レタラ、見エル。』を福岡、釜山両都市で上演。

中嶋 さと

14+ 主宰/演出/俳優



福岡在住。福岡を拠点に演劇活動を行う。数年前から韓国との共同製作も始め、2014年「第5回福岡アジア美術トリエンナーレ」参加作品WATAGATA「バダバダ/波の少女」で作、演出を担当した。2009年FFAC創作コンペティションで最優秀作品賞、観客賞W受賞。

横山 恭子

オフィス ケイワイ代表/制作・コーディネーター



商社勤務を経て、2005年よりNPO法人FPAPにて福岡の小劇場や練習場の管理業務などに従事。2007年世田谷パブリックシアターにて10か月のアートマネジメント研修に参加。2008年から5年間、福岡市文化芸術振興財団の事業コーディネーターとして主にダンス事業を担当。2013年よりフリーランスの制作・コーディネーターとして活動。

王丸 あすか

アートマネジメントセンター福岡/制作



2004年のアートマネジメントセンター福岡の立ち上げに関わる。2010年より職員となってからは、福岡演劇フェスティバルの事務局や、指輪ホテルの制作をしながら経験を積んでいるところ。近年はぼんブラザホールにおける企画や助成金申請の一部も担当。ツアー制作として国内はもとより韓国に行く機会も増えてきた。

◎緊急参加 釜山からゲスト参加

【ゲスト】キム・ヒジン(WATAGATA福岡釜山アートネットワーク 釜山側代表) ジョン・ミョン(同 釜山側運営委員) イ・ジスク(原都心創作空間トタトガ運営支援センター チーム長) ジョ・ウンア(ミュージカル制作企画者/株)文化CONG)